

ChiKaRa

すずかけセントラル病院 広報誌 Vol. 21

特集 新春のご挨拶



CONTENTS 摂食・嚥下障害看護認定看護師 新任医師紹介

お知らせ・イベント情報

表紙の人 すずかけセントラル病院 病院長
鈴木 一也

INFORMATION

すずかけグループ 健康講座 開催

平成30年2月25日(日) 13時30分〜
アクトシティ浜松コンGRESSセンター41
会議室において、「第12回すずかけグ
ループ健康講座」を開催いたします。
循環器内科の出口医師、浜松医科大学
第三内科の早乙女医師による講演となり
ます。入場は無料となっておりますの
で、この機会に是非お出かけ下さい。



申込み・お問い合わせ
(平日9時〜17時)

TEL: (053) 443-1155
FAX: (053) 443-1166

※聴講には事前申込みが必要となります。

防災訓練 実施報告

平成29年11月8日(水)に、深夜火災
発生を想定した防災訓練を実施しまし
た。初動訓練・状況報告訓練、屋外では
煙中避難訓練を行いました。
津波避難ビルでもある当院では、多く
の職員が積極的に防災訓練に参加してい
ます。



開院5周年記念スローガン 決定

当院の開院5周年を記念して、職員か
らスローガンデザインを募集しました。
職員向け、外来向け、健診向けの3種類
を募集して、合計36枚の応募がありまし
た。投票の結果、受賞者が決定しまし
た。今後も、地域医療の要となる病院と
して、皆様に信頼され安心して利用し
ていただけるよう努めてまいります。



金賞

土曜外来・早朝外来 行っています

当院では平日朝7時頃の早朝外来と、
土曜日午前中の総合診療科外来を行っ
ています。
学校や仕事前に診察を受けたい方、平
日は仕事の都合で病院にかかれずお困り
の方など、ぜひご利用ください。健康診
断で要受診や再検査を指摘された方もご
相談ください。

お仕事でなかなか平日休みが取れない方・・・
健康診断結果で要受診や再検査を指摘されても
なかなか病院にかかる事が出来なかった方・・・

土曜日外来 開設しています
学校・仕事前に診察を受けたい方・・・

早朝外来 開設しています

診療科目 **総合診療科**

受付時間
土曜日外来 8:30~11:30 早朝外来 7:00~8:00

編集後記

当院のホームページはご存じですか？
携帯電話でこのページ右下にあるQRコー
ドを読み取っていただくと、病院のホー
ムページにアクセスでき
ます。当院のいろいろなき
情報が載っていますので
一度ホームページも覗い
てみて下さいね。



浜松市南区田尻町120-1

TEL: 053-443-0111 FAX: 053-443-0112

http://www.suzukake.or.jp

発行 すずかけセントラル病院 広報委員会

発行日 平成30年 1月 9日



新春のご挨拶

新年、あけましておめでとございませう。

平成24年11月の開院以来、早いもので5年が経過致しました。この間、医師やその他スタッフの増員、外来診療科目の増設、病棟機能の改変、新たな医療機器やソフトウェアの導入など、提供できる医療のレベルは確実に向上してきました。地域の皆様のご協力とスタッフ一同のたゆまぬ努力に深く感謝いたします。

新たな5年（開院後10年）に向けて、1年目のスタートの今年、「すずかけの木陰のやさしさ」「世界一風通しの良い病院」というコンセプトを継承しながら、新しい取り組みを、can-do attitude: やればできる気持ちで、始めようと思えます。外来診療、入院、健診すべての分野で、地域の皆様にもますます信頼される、質の高い最新の医療を提供できるよ
う一層の努力を惜しまないことを誓います。

本年も引き続きご指導、ご協力をお願い申し上げます。

病院長
鈴木一也

摂食・嚥下障害看護認定看護師

「存知ですか？」

みなさんは、摂食・嚥下障害看護認定看護師という看護師をご存知でしょうか？

認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める認定看護師教育を修め、認定審査に合格することで取得できる資格です。2017年12月現在で21分野の専門分野があり、摂食・嚥下障害看護認定看護師は2006年から認定されるようになりました。現在当院では1名の摂食・嚥下障害看護認定看護師が在籍し、病棟で働きながらNSTメンバールとして活動しています。

栄養と嚥下障害について

低栄養状態と嚥下障害の関連について説明します。高齢者は一般的に食が細くなる傾向にあります。そのため、十分な栄養がとりにくくなり、必要なエネルギーやたんぱく質などの栄養素が不足した低栄養状態に陥ることがあります。これに疾患や環境の変化等が加わり、さらに食事が食べられなくなると、低栄養が悪化します。すると、①体力や免疫力が低下し、病気にかかりやすくなる ②筋肉量や筋力が低下する ③骨が弱まり骨折しやすくなるなどの弊害がおきます。これらの弊害により活動量が減り、気力がなくなることでさらに状態が悪化する可能性があります。



一方で、高齢者は歯がないことや顎の筋力が低下することにより、食事中の嚥んでいる時間が長くなる傾向にあると言われていいます。そして、「ごっくん」と飲み込む反射自体がゆつくりになります。これは、どの筋力が落ちてしまっても、食物が通る入り口が開くタイミングが遅くなることから起きます。また、のどの感覚そのものが低下すると言われていいます。以上のことから高齢者は、誤嚥しやすいと考えられています。高齢で、ただでさえ嚥下機能が衰えてしまっているところに、低栄養状態による筋力低下が加わるとさらに嚥下障害は悪化します。嚥下障害が悪化することで食事が食べられなくなり、低栄養状態は、さらに悪化することがあります。そのため、高齢者ではこれらの悪循環を断ち切る必要があると考えられます。



「口から食べたい」という思いを大切に

24時間患者さんに寄り添う看護師は、認定看護師とともに、患者さんの「口から食べたい」という希望が叶えられるように援助します。それは、日々の生活で行う歯磨きや食事介助、ベッドから起きるといった離床であり、これらが嚥下訓練の一つとなります。患者さんの持てる力を最大限引き出し、一人でも多くの食べる楽しさを奪うことのないよう活動していきたいと思います。



嚥下障害、または最近食事が食べられないなどの不安やお悩みのある方はお気軽にご相談下さい。



筆者
水谷 香奈子
（摂食・嚥下障害看護認定看護師）

新任医師紹介

泌尿器科 津坂 恭央

10月より泌尿器科医として勤務させていただいております。津坂恭央と申します。地域の皆様に貢献できるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

